

# NHO沼田病院だより

National Hospital Organization Numata National Hospital



沼田まつり2014

撮影：放射線科 村田成正

## 理 念

**基本理念** 心のこもった質の高い医療を行う病院

- 基本方針**
- 1 患者さんを中心にチーム医療で臨みます。
  - 2 患者さんの心に通うサービスに努めます。
  - 3 患者さんに信頼される健全経営を目指します。

## 行 動 姿 勢

- 1 **現場主義** — 現場に戻ろう！
- 2 **実績主義** — 隠れた実績を大切にしよう！
- 3 **患者中心主義** — 患者の立場で考えよう！
- 4 **チーム医療** — お互いに助け合おう！  
自分の意見をはっきり言おう！  
相手の意見をしっかりと聞こう！

## 行 動 指 針

政策医療と地域医療の実践

## 副院長就任のご挨拶

副院長 根岸 哲夫



平成26年8月1日付けで沼田病院副院長に就任いたしました。平成17年に沼田病院へ赴任し今年で10年目となり、その間に、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病や甲状腺を中心とした内分泌疾患の診療を行ってきました。今回、就任挨拶の原稿を書くに当たって医療とは何かを見つめ直す機会をいただき、私なりに考えた結果、医療に携わっている人が常に心得ておくべきことは、“患者さんを不安にさせない”ことに尽きると思いました。

病院での1日を振り返ってみると患者さんの不安は至る所に存在しています。先が見えない病気への不安、夜一人でいる時、病気が急に悪くなるかも知れない不安、病気の再発に対する不安、副作用の不安、退院後に行き場がない不安、医療の安全に対する不安、診察室で何を言われるかという不安、待合室で、いつ呼ばれるかと思いながら待たされている不安、医療費を払えるかどうかの不安、帰りのバスを気にする不安、検査や処置に対する不安、初めて受診した病院の中で目的地を探す不安、入院中にリストラされるのではという不安、入院中に残してきた家族に対する不安等です。まさに不安のオンパレードです。

これらの不安は充実した医療設備・診療科・マンパワーを備えていれば解決できるのでしょうか？

いいえ、これらの問題は医療資源の充実だけでは解決できません。患者さんの不安を聞き出し少しでも和らげる努力をする必要があります。患者さんの不安を自分に置き換えて、“どうして欲しいのか”と考えることから解決策が見つかるはずです。夜間、症状を訴えて受診された患者さんが、このまま帰れば不安で気が休まらないとなれば一泊でも入院して不安をやわらげるなどは1つの解決策です。高齢者においては入院で健康を取り戻しても退院後、すぐにでも病気が再発する不安が付いて回ります。開業医の先生方との密な病診連携が、途切れることのない医療を提供し退院後の不安の解消につながればと思います。医療の安全に対する不安は、最近、話題になっている食品の安全性に対する不安に置き換えてみると良くわかります。医療安全にしっかり取り組んでいるから御安心下さいと言えるように努力していきたいと思います。

“患者さんを不安にさせない医療”つまり、不安を安心に換えることを今からでも少しずつ実践し、沼田病院の基本理念である“心のもった質の高い医療を行う病院”を実現していくことを願って就任の挨拶とさせていただきます。

## 救急部長就任のご挨拶

救急部長 岩波 弘太郎



本年8月から沼田病院の救急部長を拝命いたしました。平成19年に外科医長として当院に赴任して以来、7年間あまりを外科手術、がんの診療を中心に従事してきました。今後は外科診療のみならず当院、ひいては利根沼田地域の救急医療に対しての責任を負うという重大な任務を授かり、身の引き締まる思いです。

沼田病院は地域の中核的な役割を担っておりますが、全ての診療科が揃っているわけでもなく、常勤医の数も十分ではありません。消化器疾患など得意とする分野もあれば、整形外科や脳疾患など十分に対応できない分野もあることは事実であります。しかしながら、群馬県北毛の広大な地域に約9万人の人口を有する利根沼田地域は高齢者の割合が多い地域です。急病や急な怪我で医療が必要となる患者さんの多くは、様々な合併症を抱えていたり、地域の病院にかかりつけであったり、交通手段も限られているなどの理由から、出来る限り地元で治療を受けたいと思われる患者さんがほとんどであるということもまた事実だと思います。最初に診療に当たる医師が、自分の専門外は診ない、診れない、診ようとしなないという姿勢は、そのまま患者さんの不幸な転帰や不安、不満につながることでしょう。

当院のような病院では、医師一人が診る病状や疾患の幅を広げることは必要だと思います。電話での症状を看護師さんから聞いただけで「診れません」と即答したり、救急隊からの搬送要請をけんもほろろに断るといった対応は決してしないという姿勢を私自身が率先することにより、当院の医師にも賛同していただくことを最初の目標としています。

日常の忙しい臨床の合間に当直常勤務をこなすことによる心身の疲労も、当然理解しなくてはなりません。常勤医が少ない反面、各科どうしの横のつながりが密接である当院の強みを生かして、先生方とのコミュニケーションも大切にしたいと思います。内科の先生方が外科疾患に当たることへの限界もあるので、外科のオンコール体制も十分に活用していくつもりです。腹痛症状や吐下血などの消化器の疾病に対しては、利根沼田地域で当院がイニシアチブをとって診断、初期治療、必要があれば内視鏡治療から緊急手術までを行い、消化器疾患は沼田病院に行けば何とかしてくれると信頼されるようになればと思います。

これらを実践するためには医師個人の努力だけでなく、看護師さんや検査科、放射線科、薬剤科などのコメディカルの方々の協力とお互いの連携、更に、当地域の消防や医療機関の連携が大切だと考えます。利根沼田地域の救急医療を、できる限り当地域で完結できるように努力するという気概を持ってこれから頑張っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

## 診療科紹介 放射線科

がん診療部長 見 供 修

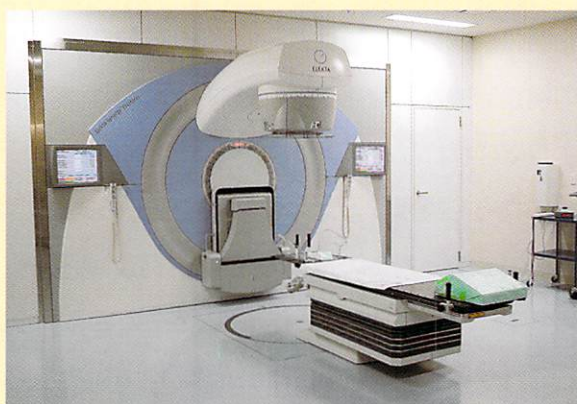


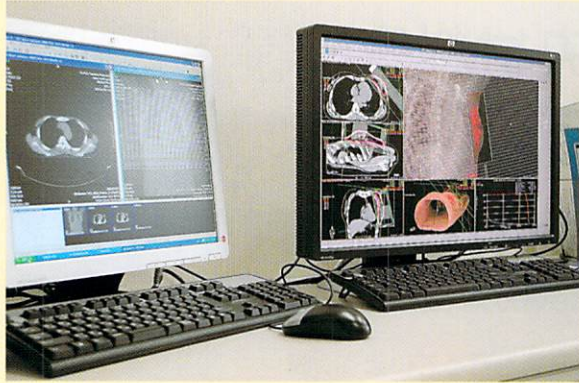
放射線科は、X線や放射性物質から放出されるガンマ線などの放射線、核磁気を利用した画像診断および治療（放射線治療）を行っています。画像診断および治療ともに群馬大学より非常勤医の応援を得て、放射線科の診療業務を行っています。

画像診断は、疾患の病態、病因を人間の解剖に基づいた形態的な診断、さらに臓器の機能を把握する機能診断に分かれます。主として、前者にはCT、MRI（核磁気共鳴装置）、後者にはガンマカメラによる核医学診断装置（RI）があります。MRIは今年1月～最新式の1.5テスラ装置に更新され、今までよりも動きに左右されにくく、詳細な画像が得られるようになりました。

画像診断装置は高額であります。病気の診断と治療には画像診断は必要不可欠です。診療所や病院の先生方には、地域連携室を通して「ダイレクト予約」にて、手軽に、遠慮なくご利用していただきたく願っております。

一方、放射線治療は、平成23年5月に外来診察室、点滴や安静の可能な待機室を併設した放射線治療専用の治療棟が新設され、その後、特殊かつ高度な治療を幅広く行える放射線治療装置が12月から稼働いたしました。放射線技師2人、物理士1人（非常勤）、医師、看護師のチーム医療を目指して、少しでも患者さんの治療、ケアの向上を目指して日夜励んでおります。





放射線治療は、最初に、治療効果と副作用を軽減するためにCTなどの画像をもとに癌（腫瘍）にどのように治療を行うかの「治療計画」が立てられます（治療計画装置写真）。その結果、治療の回数、時間、事前の準備などが決まります。前立腺癌などのIMRT（強度変調放射線治療）、肺癌などのSRTなどのより高度で正確さを求められる治療では、治療をする側の検証とともに治療される

患者さんの協力が必要となります。患者さんには、事前に病状の説明とともに協力が得られるための説明がなされます。手術や抗がん剤の治療と異なり、外来で治療も可能です（全体の約60%が外来通院の患者さんです）。しかし、癌の合併症である強い痛み、出血、むくみなどを呈した患者さん、ターミナル（終末期、進行状態）となった患者さんの苦痛の軽減・ケアを図るための治療（対症療法）では、入院して頂く場合があります。新たな装置が、がんの総合的な治療（集学的治療）の一つとして癌の治療、緩和ケアに一層役立てばと思っております。

以上、放射線科は、診断およびがんの治療・ケアにおいて、他の診療科を横断した業務であることから、その特徴を生かしつつ、「がんの均てん化」をめざしつつ、利根沼田地域における医療の向上と健康の増進を進める病院の使命の一翼を担っていけたらよいと考えています。

## 新任職員紹介



2階病棟 看護師 松井 麻衣

はじめまして。高崎看護学校を卒業して、4月から2階病棟で働かせていただいています。

わからない事ばかりですが、できるだけ早く覚えて、患者さんにより看護を提供できるようにになりたいと思います。よろしくお願いします。



4階病棟 看護師 竹澤 玲子

はじめまして。4月より4階病棟に配属になった竹澤です。慢性期病棟に勤務していたのですが、自分を向上させたいと思い、沼田病院に来ました。

初心に戻り日々努力していききたいと思います。よろしくお願いします。



栄養管理室 管理栄養士 吉田 郁絵

8月1日より栄養管理室で非常勤栄養士として働かせていただくことになりました。1日でも早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう、努めて参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 職場紹介 手術室・中央材料室

准看護師 永井 澄子



私たちの部署では器材の滅菌業務、手術、内視鏡、心臓カテーテル検査、人工呼吸器や輸液ポンプの点検・管理など多岐にわたる業務を行っています。滅菌業務は手術や様々な治療、処置などに使用される器械等を洗浄・滅菌しています。安全な医療、看護を行っていくためには欠かせない重要な業務です。内視鏡センターはH24年に改築移転し、より快適に検査が受けられるようになりました。比較的苦痛の少ない鼻からの胃カメラも行っていきます。また最新機器の導入、技術の向上により早期の段階であれば内視鏡での胃がん切除治療も可能な場合があります。手術では、内視鏡同様に早期がんなど可能な場合には、傷を最小にした腹腔鏡下での手術も行っています。内視鏡・手術ともに早期発見・早期治療が大きなカギと言えます。レントゲン室で行われるカテーテルを用いた心臓や肝臓の検査・治療などの介助にも携わっています。

私たち手術室スタッフは、予定の検査・治療だけでなく昼夜を問わず緊急にも随時対応しています。皆様が安全に、安心して検査・治療を受けられるように機器の整備はもちろん、専門的知識・技術の習得に努めています。また辛い検査・治療時も声掛けや共感を心懸け患者様に寄り添った看護を日々行っています。

皆様も日々の健康のためにもぜひ、検診を受けて下さい。検診を忘れないために誕生日を目安に受

けることも1つの方法ではないでしょうか。また、状況によっては当日の検査も可能な場合があります。症状のある方や心配な方は、かかりつけ医または、主治医、看護師等にご相談下さい。



# 市民公開講座・ リンパマッサージ教室

医療安全管理係長・看護師長 和氣 美佐子



平成26年5月27日 ひまわり会主催の市民公開講座を開催いたしました。  
参加者は全部で48名でした。



一部は前村院長から、乳がんの種類や治療方法などについて説明があり、患者さんからは「とてもわかりやすい内容でお話をしていただき、良かったです。」と輝かしい笑顔で話をしていました。いつも忙しい前村院長に聞くことができないことも質問できて大変充実した時間を過ごすことができました。二部は原町日赤病院 乳がん認定看護師 柳沢ちぐささんが自己検診の方法や乳がん治療後の日常生活の注意点などわかりやすく説明をしていただきました。柳沢さんはこのひまわり会の皆さんが非常に真

剣に話を聞き、疑問があるとどんどん質問をしてくるパワーに圧倒されていました。これからも柳沢さんはひまわり会の皆さんと仲良く勉強をしていきたいとのことでした。

平成26年7月15日 乳がん認定看護師の柳沢ちぐささんをお迎えし、リンパマッサージ教室を開催いたしました。参加者は全部で16名でした。

リンパ浮腫の発生原因や日常生活上で注意することを学び、リンパの流れる方向やマッサージの手の強さなど、柳沢先生が患者さん1人1人の手に優しく触れながら教えて頂き「マッサージとは言ってもこんなにやさしく流すのね」と手の圧加減を学び。また、実際にリンパ浮腫がある患者さんはマッサージ後の自分の腕が細くなり「こんなに細くなった」と驚いたり、喜んだり、魔術のようなリンパマッサージに大歓声の時間でした。

自分の病気に立ち向かっている患者さんはちょっとした疑問や不安で気が滅入ってしまうのですが、このひまわり会の皆さんはこの会に参加するたびに病気に立ち向かっていく強さを積み重ねて行くように思います。ひまわり文庫の図書もいろいろな本が集まり、立ち寄る患者さんも増えてきています。これからもひまわり会の会員さんだけでなく他の患者さんもいっぱい元気にしていくぞ！



# 沼田まつり子供みこし

庶務係長 早瀬 大輔



平成26年8月4日（月）当院に、毎年恒例の上原町子供御輿が担ぎ手の元気いっぱいなかけ声と共にやってきました。

大きな御輿を小さな体で揺らし、その姿は患者さん私たち職員にたくさんのエネルギーと楽しい時間を与えてくれました。

子供たちは当院で準備したスイカやアイスを思い思いに頬張り、元気なお礼を言って次の目的地へ大きなかけ声で向かっていきました。

初めて参加させて頂き、このような地域との繋がりを感じるイベントを今後も大切にしていきたいと感じました。





# アナフィラキシーについて

薬剤師 古谷 尚子

時折、蜂に刺されたり、食物アレルギーを引き起こす食品を誤って食べたりした人が、体調不良を訴えその後死亡したという報道に接する事があります。

これらはアナフィラキシーショックを引き起こしてしまったために起こった痛ましい事故です。

今回はアナフィラキシーおよびその対策についてお話しします。

**Q.** アナフィラキシーとはどのようなものですか？

**A.** アレルギーの原因となる物質に接触あるいは体内に取り入れた後に発生する急性で激しいアレルギー症状の事です。

**Q.** アナフィラキシーの症状とはどのような物ですか？

**A.** 蕁麻疹、痒み、しびれ、唇や舌等の腫れ、呼吸困難、血圧低下、嘔吐、意識障害などの症状が起こります。症状が重篤な場合は、生命が危険な状態になることもあります。

**Q.** アナフィラキシーを起こした場合の対策はありますか？

**A.** 「エピペン注射液」という、アナフィラキシーが発生した時に自分で注射して、症状を緩和する事ができるお薬があります。お薬が注射器具に入った状態になっており、投与法は子供でも使用できるくらい簡単です。保険が適応されるお薬で、病院で医師が処方すれば入手できます。



**Q.** アナフィラキシーが起きても  
エピペンを使用すれば大丈夫ですね？

**A.** 注射をした後は必ず、すぐに病院を受診してエピペンを使用した時の状況やその後の様子を医師に報告してください。

# 「貧血」に注意しましょう

栄養管理室長 石井 民子

「貧血」は、血液中の赤血球数が減少したり、赤血球に含まれるヘモグロビンが低くなった状態のことをいいます。ヘモグロビンは鉄を含む色素（ヘム）とたんぱく質（グロビン）でできた成分で、酸素を運ぶ大切な働きをしています。ヘモグロビンが減少すると酸素を運ぶ力が低下し、筋肉や様々な臓器が酸素不足になり、動悸や息切れ、めまい等の症状が現れます。原因によって対策に違いはありますが、今回は最も多い「鉄欠乏性貧血」についてお話します。

「鉄欠乏性貧血」はヘモグロビンの合成に必要な鉄が不足し、十分な量が作れなくなるために起こる貧血です。成長期や妊娠等通常よりも必要量が多くなることや出血等で鉄の排出が多くなることで起こります。また、食生活の変化や偏食、無理なダイエットによって食事からの鉄の摂取量が少なくなることでも起こります。鉄の摂取はもちろんですが、吸収を助けてくれる栄養素を含めて1日3食、主食（エネルギー源）・主菜（たんぱく質源）・副菜（ビタミン・ミネラル）のそろったバランスのよい食事を心がけましょう。

- ①鉄：赤身の肉や魚など動物性食品に含まれるヘム鉄と緑黄色野菜や海藻に含まれる非ヘム鉄があります。非ヘム鉄の吸収率はヘム鉄に比べると1/5ですが、たんぱく質やビタミンCと一緒に摂ることで吸収率が上がります。逆にコーヒーや緑茶に含まれるタンニンは吸収を妨げるので、食事中や食後に飲むことを控えましょう。
- ②たんぱく質：肉や魚、大豆製品、乳製品に含まれ、ヘモグロビンの材料になります。
- ③ビタミンC：緑黄色野菜、柑橘類、いも類などに多く含まれます。

④ビタミンB12：レバーや魚介類、貝、チーズなどに含まれます。

⑤葉酸：レバー、卵黄、大豆、緑の濃い野菜に含まれています。



## 沼田病院の外来受診のご案内

### 1. 外来診察の受付時間は8:00～11:30です。

午後は小児科のみ 14:30～16:30 に受付を行っております。また、検査・手術・特殊外来等の予約患者さんに対応しております。

### 2. 土・日・休日・夜間の受診について

土・日・夜間は、緊急性のある患者さんに対応しています。

特に、夜間は救急車で搬送される患者さんを優先して診察をしています。

そのため、軽傷の患者さんは待ち時間が長くなったり、翌日の診察を勧める場合もありますので、ご了承下さい。

体調不良を感じましたら、できるだけ午前中8:30～11:30 までに受診されることをお勧めします。

### 病院ボランティア募集

あなたのやさしさを、あたたかいふれあいを、あなたの助けをお待ちしております。

#### \*\*\*\*活動内容\*\*\*\*

#### ○外来での総合案内

診療科・検査科・放射線科への案内、車椅子介助、診療申込書等の代筆、受付機の取り扱いなど

#### ○植木・花壇の手入れ

#### ○入院患者さまの話相手、朗読

#### ○芸能、音楽など

#### \*\*\*\*問い合わせ先\*\*\*\*

地域医療連携室 MSW 小淵(おぶち)まで

### 看護師募集

ゆったりと、思いやりのある看護を志す方を求めています。

#### 1. 看護単位：

病棟(3) 手術・中央材料室 外来

#### 2. 看護方式：

固定チームナーシングと受持看護を併用

#### 3. 勤務体制：

4週8休 3交替制

#### 4. 卒後教育：

クリニカルラダーに沿った充実した経年別教育

詳しい内容についての問い合わせは  
総看護師長室 まで

## 編集後記

今夏は“大型で非常に強い”台風8号に始まり各地で気象の変化が著しい季節でした。秋になりすっかり過ごしやすい時期になりましたが、例年をみても急な猛暑日になることも十分に考えられます。

健康管理をしっかりとおこない、スポーツ・芸術・食欲などそれぞれの秋を楽しみましょう。

地域連携室広報 HP 委員会委員 町野 瞬

# 外来診療担当医師一覧表

平成26年9月現在

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
総合内科1	午前	飯塚(光)	飯塚(圭)	高橋	内科医師	根岸	
総合内科2	午前	迫	武井	飯塚(光)	桑原	高橋	
総合内科3	午前	大塚	林	根岸	武井	林	
小児科	午前	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	高橋・(湯原)	湯原	
	午後 14:30~16:30	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	高橋	湯原・(高橋)	
総合外科1	午前	戸谷	前村	岩波	岩波	六本木	
総合外科2	午前	三木			戸谷		
整形外科	午前 ~11:00	—	高澤	—	大澤	—	
	午後	—	—	—	割田(予約制) (隔週)	—	
泌尿器科	午前	伊藤(完全予約制) (隔週)	—	—	—	—	
婦人科	午前 ~10:45				松井		
眼科	午後 13:15~	米谷(予約制) (隔週)					
耳鼻いんこう科	午前				高安		
放射線治療科	午前	見供(新患)	見供(再診)	見供(新患)	見供(再診)		
	午後		柴				
画像診断科	午前				新井		倉林
	午後		守屋				

# 専門外来診療一覧表

※は、基本的に予約又は紹介

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
内科(肝臓・消化器)			大山 13:30~15:30				
消化器科外来	※14:00~16:00 (完全予約制)			※14:00~16:00 (完全予約制)			
乳腺・内分泌外来				14:00~16:00	※お手数ですが、乳腺内分泌外来を受診希望の方は事前に 当院までお問い合わせをお願いします。		
糖尿病外来					※常川 9:00~11:30		
フットケア外来	※13:00~15:00						
喘息・アレルギー呼吸器外来			久田・秋山 (完全予約制) 14:00~16:00			桑子 (完全予約制) 14:00~16:00	
循環器内科外来	※林(完全予約制) 13:00~16:00			※林(完全予約制) 13:00~16:00		※飯塚(完全予約制) 14:00~16:00	
心臓血管外科外来				14日(群大Dr) 14:00~16:00			
肝臓外来						※大塚(完全予約制) 14:00~16:00	
看護外来						※外来看護師 13:00~16:00	
がん看護外来	10:00~15:00	10:00~15:00	10:00~15:00	10:00~15:00		10:00~15:00	
セカンドオピニオン外来	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
緩和ケア外来	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
リハビリテーション	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
糖尿病教室(無料)	14:00~15:00	11:00~12:00	11:00~12:00	15:00~16:00	11:00~12:00		
内分泌外来	※根岸 14:00~16:00						
禁煙外来					※桑原・根岸 14:30~16:00		

■□ 上記のほか臨時に休診・代診となることがありますので正面玄関入り口の掲示板をご確認ください ■□

診療時間 午前8:30~午後5:15

診療受付時間 午前8:30~午前11:30 (予約の再診及び専門外来を除く)

診療日 月曜日~金曜日(祝日、12月29日~1月3日は除く)

面会時間 全日午後1:00~午後8:00 ご面会の方はスタッフステーションで病室をご確認の上ご面会下さい。

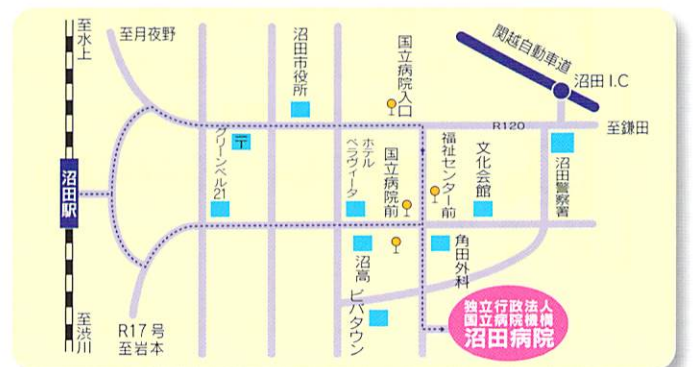
# 交通案内図

## ●JR上越線をご利用の場合

沼田駅	関越交通バス (大清水・鎌田・川場行き)	国立病院前	徒歩2分	沼田病院
沼田駅	関越交通バス (沼田市保健福祉センター行き)	終点	徒歩3分	

## ●自動車をご利用の場合(関越自動車道)

沼田I.C	車で5分	沼田病院
-------	------	------



当院が所在する地域の尾瀬の「水芭蕉」を圖案化したもので、中央に沼田病院を英字で表示した。(テーマ:地域に根づく医療)